

様式第 1 号

会 議 録

会議の名称	平成 25 年度第 4 回所沢市高齢者福祉計画推進会議
開催日時	平成 26 年 1 月 29 日 (水) 午後 2 時 00 分から午後 3 時 45 分まで
開催場所	市役所 全員協議会室
出席者の氏名	大島委員、柳内委員、山口委員、岡村委員、生澤委員、 高野委員、清水委員、小原委員、吉本委員、山上委員、 稲津委員、根本委員、牛窪委員、板谷委員、橋本委員、 有田委員、斎藤委員
欠席者の氏名	中委員、柴井委員、小野委員
議 題	( 1 ) 地域包括支援センターの平成 25 年度評価指標 ( 案 ) について ( 2 ) その他 報告事項 ( 1 ) ( 仮称 ) 所沢市総合福祉センター( 複合施設 )における高齢者 関係事業について ( 2 ) その他
会議資料	会議次第 委員名簿 資料 1 地域包括支援センター運営事業評価について 報告資料 1 高齢者福祉・介護実態調査 前回調査からの変更点 報告資料 2 所沢市老人ホーム亀鶴園等に係る指定管理者の指定について 所沢市総合福祉センター ( 複合施設 ) ブロックプラン
担当部課名	福祉部 本橋部長、美甘次長 高齢者支援課 ( 池田課長、滝澤副主幹、斎藤副主幹、飯野副主幹、 秋山主査、築地主任、稗田主任、長浜主任 ) 介護保険課 ( 岸主幹、平林主査、坂本主査 ) 福祉総務課 ( 北田課長、佐藤主査 ) 健康推進部 健康づくり支援課 ( 岸課長、森澤主査 )  事務局 福祉部高齢者支援課 電話 04-2998-9120

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>開会にあたり、委員長からあいさつがある。</p> <p>二村委員の退任、小原委員の新任について報告し、小原委員から挨拶がある。</p> <p>委員の互選により、副委員長に小原委員が選出される。</p> <p>傍聴希望者が 5 名あり、委員により会議の公開が承認される。</p> <p><u>議題（ 1 ）地域包括支援センターの平成 25 年度評価指標（案）について</u> 事務局より、資料 1 に基づき説明を行う。</p>
委員	<p>評価に当たっての基準を具体的に示した方が良いのではないか。 例えば「2-3 ネットワーク構築業務」では地域包括支援センターの周知についての指標があるが、関係者、高齢者全体、子どもや青年など、周知の対象をどこまでと想定しているのか。 また、会議を開催したかどうかの項目があるが、その結果どのような成果が得られたのか、という点は分かりにくいのではないか。</p>
事務局	<p>評価の基準については、例えば周知については、介護予防事業の開催にあたって地域全体の高齢者へ周知しているかなどを想定していたが、基準の考え方について、自己評価を行う地域包括支援センターと認識を十分に共有する必要があると考えている。 また、会議の開催については、契約仕様書等により必ず開催すべき回数を定めているほか、毎年度すべてのセンターから提出される運営計画書に予定回数が記載されており、これらの実施状況を踏まえて評価することを考えているが、不足する点については精査を検討したい。</p>
委員	<p>評価点の高いセンターが評価点の低いセンターに対して事業の効果的な実施手法などを情報提供するという点について、地域包括支援センター間の関係に弊害が生じてしまうことはないか。事業運</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>営上の情報交換等は毎月の地域ケア運営会議でも行われており、評価においては自主点検にとどめても良いのではないかと。</p> <p>評価点の高い地域包括支援センターが情報提供を行うことについては、地域ケア運営会議において評価指標案を示した際に地域包括支援センター側から提案されたものであり、市としても必要と認め採用したものである。</p>
委員	<p>地域包括支援センターの自己評価では点数を記入することとなっているが、市が評価する際にも点数を記入するのか。</p>
事務局	<p>市の評価は、地域包括支援センターによる自己評価の妥当性を評価することが目的であり、点数づけは考えていない。</p>
委員	<p>介護保険の事業所では、既に自己評価や外部評価が制度として導入されており、インターネット等での公表が義務付けられているが、その結果をどのようにサービスの質の向上につなげるかなどの課題がある。</p> <p>今回の地域包括支援センターの評価では、結果をどのように活用することを考えているのか。</p>
事務局	<p>点数だけが一人歩きしないよう、結果の取扱いには注意が必要であると認識している。なお、結果の活用については、主には第6期計画にどのように盛り込むか、ということになると思うが、その詳細は、結果や制度改正の動向等を踏まえて検討してまいりたい。</p>
委員	<p>年度初めに作成する運営計画書を基に評価することについて、例えば契約上で最低2回以上開催するとされている医療連携会議について、2回を予定して2回開催したところと、3回を予定して2回開催したところでは、公平な結果にならないのではないかと。さらに、評価が低くならないよう、運営計画書の計画回数を減少させてしまうところも出てくるのではないかと。</p> <p>また、今回の評価表は地域ケア運営会議などの場で地域包括支援センターにも示しているのか。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>各地域包括支援センターが新年度の運営計画書を作成する際には、各地区を担当する市職員と内容を協議し、正当な理由なく事業が縮小等しないよう調整を行いたい。</p> <p>地域包括支援センターへは、1月27日の地域ケア運営会議において評価表案を示し、意見交換を行っている。本日は、地域包括支援センター運営協議会として、委員の皆さまからご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>地域包括ケアシステムの構築という大きな目標の下にさまざまな事業を実施しているものと思うが、例えば医療連携を一層進めていかなければならない中、医療機関が少ないなどの理由で最低限の回数しか開催できていない地域があった場合に、そうした状況を問題はないと考えてよいのか、ということにも関連していく。この会議は地域包括支援センター運営協議会の役割を担っており、今回の評価の方法が適切なものとする責任があると思う。</p>
事務局	<p>評価の考え方としては、単に運営計画書の達成状況、例えば会議の開催回数のみを基準とするのではなく、事業実施のプロセスも含めて判断する必要があると考えている。地域包括支援センターセンターの自己評価に際して市職員がかかわっていく中で、そうした観点が共有されるよう徹底を図ってまいりたい。</p>
委員	<p>地域包括支援センター事業の委託契約上、実施すべき事業の回数等は示されているようだが、各地域包括支援センターがそのほかにどのような目標やビジョンを持っているのかを、整理していただくと良いのではないかと。</p>
委員	<p>各地域包括支援センターでは、地域の特性を踏まえた運営計画書を作成しており、地域の特色や課題、活動目標、これまでの実績と目標などを定めている。今回の評価では、単に数字だけではなく、これらの目標等に基づいて自己評価を行っていただく予定である。</p>
事務局	<p>これまでの委員と重複する部分もあるが、評価の結果をどのよう</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>に活用するのが重要と考える。</p> <p>単にいろいろな事業を手広くやっている方が点数が高くなるのではないか、という懸念はあるが、圏域ごとの課題や目標等の設定で評価すべき部分は異なってくる。単純な回数等だけでなく、どのようなプロセスで実施しているのか、あるいは、実施の結果、市民に対してどのような効果が得られたのかなど、点数にとらわれない方法で、活用につながるものとしていただきたい。</p>
事務局	<p>委員の意見を踏まえ、今回の結果をどのように第6期計画に反映できるのか、また、地域包括支援センターの運営へのどれだけフィードバックできるのかを踏まえ、見直しを検討してまいりたい。</p>
委員	<p>市職員がかかわった上で妥当な評価であることを記載する根拠欄があるのであれば、地域包括支援センターの自己評価では点数付けをしなくても良いのではないか。他の地域包括支援センターと共有すべき良いところは根拠欄を精査する中で把握できるだろうし、他の委員も心配されているように、点数化することでセンターが萎縮してしまうこともないと思うので、ご検討いただきたい。</p>
事務局	<p>ご意見を踏まえて決定させていただくこととなるが、結果についてはあらためてご報告させていただきたい。</p>
委員	<p>この会議の委員としては、今回の意見がどのように反映されて評価が実施されるのかは分からないのか。</p>
事務局	<p>点数づけすることについては、委員ご指摘のように職員を萎縮させてしまう可能性もあるかと思うが、地域包括支援センター間で情報共有をする際に、なぜこの点数なのか、という分析にも有効に働くと考え。今回の評価では点数づけを行い、実施していく中で問題が生じるようであれば見直しを検討してまいりたい。</p>
委員	<p>修正されないのであれば、会議として意見を述べる必要がなくなってしまうのではないか。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	修正を踏まえた最終的な評価表については、郵送等により報告させていただきます。
委員長	点数付けについては多くの意見が出されており、検討された方が良いと考えるがどうか。
事務局	地域包括支援センターからも、根拠欄に文章のみ記載するだけでは、基準が分かりにくく個々の長所短所が伝わりにくいと意見が出されており、事務局としては、評価の指標として何らかの段階化された基準はあった方が良いと考えているが、多くの委員からのご意見をお伺いしたい。
委員	<p>評価は「5 よくできている」から「1 できていない」までであるが、「3 どちらともいえない」は、できているかどうか、とは別の判断基準であり、事業の実施主体として無責任な回答ではないかと感じる。</p> <p>また、合計された点数が一人歩きしてしまう恐れもあり、点数化はメリットもデメリットもあるのではないか。</p>
委員	地域包括支援センターが自己評価する際に、市職員と話し合いを持ちながら自己評価するというのであれば、そもそも市が点数をつければ良いのではないか。客観性も担保できると考える。
委員	<p>地域包括支援センターが、自ら作成した運営計画書に基づいて自己評価を行うという点は重要であるし、賛成である。数値目標に対する達成度も必要な部分はあると思う。</p> <p>いずれにしても、評価結果をどのように活用するかがポイントであり、その活用方法をこの場で議論するには時期尚早と思うので、引き続き検討していくべきものではないか。</p>
事務局	評価の目的は、自らの事業運営を振り返る中で、目標をどれだけできていたのかを判断することが第一であり、委員が最も懸念されている点数が一人歩きすることは、事務局としても十分注意しなければならないと認識している。

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>委員ご指摘のように、活用の方法についてはまだ決定したのではなく、本日の意見や地域包括支援センターとの調整を踏まえながら、どのようなものが望ましいか引き続き検討してまいりたい。</p>
事務局	<p>地域包括支援センター運営協議会として、地域包括支援センターに再度評価表を示す際には、本日の会議での意見を伝えていただき、議論の参考としていただきたい。</p>
事務局	<p>地域包括支援センターが集まる地域ケア運営会議では、特に意見の多かった評価結果の活用も含め、本日の意見を報告させていただき、議論してまいりたい。</p>
事務局	<p><u>議題（２）その他</u> 特になし。</p> <p>報告事項について、（２）その他から報告することとした。</p>
委員	<p><u>報告事項（２）その他</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者福祉計画推進会議条例について 平成２６年４月より、高齢者福祉計画推進会議を条例により設置する予定であることを報告した。</li> <li>・ 高齢者福祉・介護実態調査について 前回会議を踏まえた修正後の調査票について報告した。</li> </ul> <p>住居の種類について、公社・公団は既に法改正等により廃止されており、正しい表現に見直すべきではないか。</p>
事務局	<p>制度としては既に廃止されていることは承知しているが、調査の回答者が高齢者ということもあり、馴染みや分かりやすさを考慮したものであるが、再度検討したい。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所沢市老人ホーム亀鶴園等に係る指定管理者の指定について 所沢市老人ホーム亀鶴園等について、平成２６年４月からの指</li> </ul>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>定管理者の指定結果について報告した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消費税引き上げに伴う介護報酬の改定について 消費税の引き上げに伴い予定される平成26年4月の介護報酬改定について報告した。</li> </ul> <p><u>報告事項（1）（仮称）所沢市総合福祉センター（複合施設）における高齢者関係事業について</u></p> <p>資料に基づき、（仮称）所沢市総合福祉センター（複合施設）において事業等についての検討状況を報告した。</p>
委員	<p>1階の点訳室と盲卓球室は入れ替わると聞いているが、確認したい。</p>
事務局	<p>ご質問のとおり、点訳室と盲卓球室は入れ替わる。</p>
委員	<p>多目的ホールについて、ステージ下に椅子を収納する場合、ホールの規模に比べてステージが高くなってしまわないか。</p>
事務局	<p>椅子の収納方法等について設計業者と相談し、できるだけステージが高くならないよう調整したい。</p>
委員	<p>所管外かもしれないが、2階の子ども支援センターで行う子ども発達支援について、保健センターでも同様の事業を実施していると思うがどのように整理されるのか。</p>
事務局	<p>所管の子ども未来部がこの場にはいないため、確認した後に報告させていただきたい。</p>
委員	<p>最寄り駅からのアクセスはどの程度か。</p>
事務局	<p>徒歩で概ね10分程度、15分はかからない距離である。</p>
委員	<p>先日開催された健康づくり市民会議では、独居の高齢者につい</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>での議論になったが、新たに策定されることになるという保健医療計画と高齢者福祉計画・介護保険事業計画との連携はどのようになるのか。</p> <p>健康づくり市民会議では、独居高齢者に対しては、地区担当保健師や民生委員、高齢者施策である高齢者みまもり相談員など、自宅に引きこもらないよう外とのつながりを確保・維持していくべきではないかとの意見が出されたところ。</p> <p>高齢者福祉計画推進会議に保健センター職員が事務局として参加していることから密接に関連しており、今後も連携を図りながら両計画の策定を進めていきたい。</p> <p>閉会に当たり、副委員長から挨拶がある。</p> <p>閉会</p>